

●資料の訂正

平成18年11月24日付 記者発表資料

「那覇港（那覇ふ頭地区）道路（空港線）沈埋函（7号函）
製作工事（低入札工事）の契約について」

において、発表資料に以下の誤りがありました。

発表資料のうち、下から3行目

（誤） 調査基準価格：2,751,970千円

（正） 調査基準価格：2,751,670千円

平成18年11月24日
記者発表

那覇港（那覇ふ頭地区）道路（空港線）沈埋函（7号函） 製作工事（低入札工事）の契約について

沖縄総合事務局

1. 概要

いわゆるダンピング受注については、公共工事の品質確保に支障を及ぼしかねないだけでなく、下請けへのしわ寄せ、労働条件の悪化、安全対策の不徹底等につながるものであり、国民の安心・安全の確保や建設業の健全な発展を阻害するものであるため、従来より重点的な調査を実施しているところである。

今回、標記案件については、大成建設（株）が最高評価者として調査基準価格を下回る価格で応札したことを受け、「低入札価格調査マニュアル」に基づき低入札価格調査を実施したところ、大成建設（株）側より入札時に提出された工事費内訳書が下請け企業の見積額より明らかに低い額で入札したことが認められた。

当局発注の大規模な工事では、工事原価を下回り、不当廉売が懸念される初のケースであり、契約の内容に適合した履行がなされない恐れがあるため、継続して慎重に低入札価格調査を実施した。

その結果、11月14日付けで大成建設（株）代表取締役社長より誓約書（別紙）が提出され、当局としては、以下の事項を確認したことから同社と11月21日付で契約することとしましたのでお知らせします。

- 1) 同社の積算内訳書と下請け予定業者の見積書に顕著な差異があった鋼殻製作工の契約に当たっては下請け予定業者の見積書の金額に拠ることとし、その差異は同社が責任を持って負担すること。
- 2) 工事の施工に当たっては品質と安全の確保に万全の体制で対応すること。

2. 低入札工事の内容

工事名：那覇港（那覇ふ頭地区）道路（空港線）沈埋函（7号函）製作工事

入札日：平成18年9月21日（公示日 平成18年6月26日）

予定価格：3,491,970千円

調査基準価格：2,751,670千円

最低応札価格：2,386,000千円（大成建設（株）） 応札率68.3%

契約日：平成18年11月21日

平成18年11月14日

支出負担行為担当官
沖縄総合事務局開発建設部長
佐藤 孝夫 殿

東京都新宿区西新宿一丁目25番1号

大成建設株式会社

代表取締役社長 葉山 莞児



誓 約 書

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今般貴局発注の「那覇港（那覇ふ頭地区）道路（空港線）沈埋函（7号函）製作工事」（以下「本件工事」という。）の入札において、当社応札額が基準調査価格を下回りました。これにより、当社は貴局から本件工事の低入札価格調査を受けておりますが、当社の積算内訳書と下請予定業者からの見積書の金額に差異があります。特に鋼殻等製作工においては顕著であります。

つきましては、貴局より本件工事を御下命頂けました場合、

- ① 特に鋼殻等製作工に係る下請予定業者との契約に当たりましては、合意に至った見積書の金額に拠ることを確約し、その差異は当社が責任をもって負担すること
- ② 本件工事の施工に当たりましては、品質と安全の確保に万全の体制で対応すること

を誓約致します。

敬具